

# 平成17年度事業報告書

学校法人新潟青陵学園

# 目 次

1	学園の教育方針・教育目標 .....	2
2	法人の概要 .....	4
1)	設置する学校・学部・学科等 .....	4
2)	当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況 .....	4
3)	役員・教職員の概要等 .....	5
3	事業の概要 .....	7
1)	当該年度の事業（経営）の概要 .....	7
2)	当該年度の主な事業の目的・計画 .....	12
3)	当該計画の進捗状況等 .....	13
4	財務の概要 .....	17
1)	平成17年度決算額 .....	17
2)	経年比較等 .....	18
3)	過去5か年間の資産総額（純資産額）の推移 .....	20

# 平成17年度事業報告書

学校法人新潟青陵学園

平成15年度に始まった大学福祉心理学科の改革事業が、平成16年度に文部科学省および厚生労働省の指定認可（介護福祉士養成施設等、指定保育士養成施設）並びに教員免許課程の認定を得て、平成17年度からはコース制の導入によって改革事業が実行された。受験者数は対前年比で4.58倍となつて、志願倍率は7倍となった。コース別の志願倍率では、ソーシャルワークコース8.4倍、心理カウンセリングコース11.65倍、福祉ケアコース4.25倍、子ども発達サポートコース4.27倍である。因みに看護学科の志願倍率は7.51倍であった。

短期大学部にあっても文部科学省および厚生労働省の指定認可（介護福祉士養成施設等）を得て、平成17年度からは人間総合コース、介護福祉コースのコース制を導入し、人間総合コースでは2.0倍、介護福祉コースでは0.8倍（平成18年度は1.7倍に改善）の志願倍率という所要の効果を上げている。因みに幼児教育学科の志願倍率は5.4倍であった。

大学と短期大学の着実な実績を背景にして、平成17年6月30日に大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の設置認可申請を行った。9月30日には文部科学大臣の設置認可が下りて大学院が正式に発足することとなった。認可の内容は、次のとおり。

・名称	新潟青陵大学大学院		
・位置	新潟市水道町1丁目5939番地27		
・研究科、専攻及び課程並びに学生定員	臨床心理学研究科	臨床心理学専攻	修士課程
	入学定員 10人	収容定員 20人	
・修業年限	2年		
・開設時期及び開設年次	平成18年4月1日	修士課程	第1年次

引き続き、日本臨床心理士資格認定協会が実施する臨床心理士の資格試験に関する受験資格を有する第一種指定大学院となるべく指定申請を平成18年度の重点事業に据えている。第一種指定大学院の必備の施設である新潟青陵大学大学院臨床心理センターの開設は、平成17年度事業として整備し、平成18年に開設の運びである。

なお、教育研究活動の一層の改善に反映させるための第三者評価は、短期大学あつては6月23日に短期大学基準協会に申請した。平成18年度における第三者評価の実施が決定して、自己点検・評価報告書作成までの作業を平成17年度事業として実施したところである。また、大学の大学基準協会による第三者評価についても平成19年度実施に向けて、平成17年度から着手したところである。

高等学校にあつても学校評価の意義が浸透しつつあり、学習者のニーズに沿ったの改革が期待されている。

以下に、学園の教育方針・教育目標、本法人の概要、事業の概要、財務の概要を示す。

## 1 学園の教育方針・教育目標

本学園は、教育方針・教育目標として、「本学園が目指す学生の姿」「本学園が目指す教職員の姿」「本学園が目指す学園の姿」の三つのアドミッション・ポリシーを提示しております。

### 本学の教育方針・教育目標

『本学園は、教育方針・教育目標として、本学園が目指す学生の姿、本学園が目指す教職員の姿、本学園が目指す学園の姿を以下のように設定します。』

#### 一 本学園が目指す学生の姿

- 1 学生は、尊敬されるに足る人間として自ら恃(たの)むところを確かにするとともに、自己の実現に努力を惜しまない。
  - (ア) 自他の生命に対する畏敬の念を持ち、お互いに生かされ、助けあっていることに感謝し、広い視野と慈しみの心を持って人間及び社会の本質を理解できる。
  - (イ) 様々なものに感動する心を持ち、それを言葉や音楽、絵画、身体などを通じて創造的に表現できる。
  - (ウ) 周囲の現実を把握し、上司、同僚、部下、友人などと認識を共有し、かつ自己の意見を発表してこれを理解させることができる。
- 2 学生は、社会人として必要な基本的教養と礼儀を身に付けている。
  - (ア) 隣人に対して、笑顔で気持ちよく挨拶することができる。
  - (イ) 相手の立場を尊重し、意見に耳を傾け、時間や約束が守れる。
  - (ウ) 自己責任の原則を理解し、自分の態度や習慣、身だしなみを客観的に評価できる。
  - (エ) 弱者を助けるためや、住みよい環境整備のために自らの犠牲をいとわないなど、公共の意義を理解している。
  - (オ) 生涯にわたって継続して培う意義がある趣味を持っている。
- 3 学生は、新入社員として必要な知識、技能を身に付けている。
  - (ア) 専門職としての見識と能力を保持し(必要な検定や資格を取得する。)さらにその向上に努めている。
  - (イ) 国内外の政治、経済、社会事情について、新聞などにより、周囲の会話に参加できる程度の一般常識がある。
  - (ウ) 人前で3分間程度のスピーチが原稿無しでできる。
  - (エ) 読解、計算などの基本的能力に自信を持ち、少なくとも一以上の外国語について日常基礎会話ができる。
  - (オ) 専門の業務に必要なコンピュータによる情報処理能力を身に付ける。

#### 二 本学園が目指す教職員の姿

- 1 本学園教職員は、その言動、姿勢をもって、学生に感動を伝えることを最大の価値とし、学生から敬愛され、評価される存在である。
  - (ア) 学生の人格と立場を尊重し、学業遂行、授業理解支援のために最善の努力を惜しまない。

- (イ) 授業内外の指導、事務の応接などを通じて、人格的な感化を及ぼす存在である。
  - (ウ) 学生の態度や習慣、身だしなみを指導するにあたって、率先してその範を示す存在である。
- 2 本学園教職員は、地域に貢献し、評価される本学園の、価値ある不可欠の構成員である。
- (ア) 学園が目指す姿を自らのものとし、その達成に全力を尽くしている。
  - (イ) 自らの属する学部、学科、部課その他のグループ全体の向上、発展のために創意、工夫と献身的努力を惜しまない。
  - (ウ) 本学園において、上司、同僚及び部下から敬愛される存在である。
  - (エ) 地域社会において、よき隣人であると共に、本学園を代表して尊敬される存在である。
- 3 本学園教職員は、その研究分野又は担当する事務の分野において、本学園内外から評価され、尊敬される存在である。

### 三 本学園が目指す学園の姿

- 1 本学園は、上記の項目に掲げた資質を備えた学生の育成に全力を尽くすとともに、地域の社会人に開かれた存在である。
- (ア) 理事会を中心とするリーダーシップの発揮と教授会、職員会議などによる教職員の意見申し出との調和が図られている。
  - (イ) 保護者、卒業生代表、地域、職域代表などからの意見を積極的に吸い上げ、地域に密着する教育目標の設定など学校運営の重要事項に反映している。
  - (ウ) 科目履修など、社会人教育の充実が図られている。
  - (エ) 公開講座、図書館利用など市民の便宜が図られている。
  - (オ) 周辺、近隣地域との結びつきに支えられている。
- 2 本学園は、学生及び地域社会を顧客とし、顧客満足を徹底している。
- (ア) 専門的、目的的教育に関し、地元企業の発展の方向に即している。
  - (イ) 就職活動支援その他学生の面倒見の良いことで知られている。
  - (ウ) 学生の専門的な資格又は検定の取得支援の対策が充分である。
- 3 本学園は、教職員の十分な満足を得ている。
- (ア) 本学園が顧客満足の成果を収め、教職員の創意工夫が生かされているなど、教職員に自己実現の満足感がある。
  - (イ) 本学園が内外の環境変化に対応して発展する意欲と能力を持ち、地域が誇りとし得る学園を目指すなど学園の将来に不安がない。
  - (ウ) 環境問題など今日的な関心事に率先して対応する積極性がある。
  - (エ) 学園の情報は充分に開示され、学園内の意思の疎通に支障がない。
  - (オ) 教職員は、能力とその成果によって酬われ、かつその待遇は、県内類似の職種に比して劣るところがない。
  - (カ) 男女共同参画社会実現などの勤務環境が保証され、阻害要因是正の為の苦情処理制度が整備されている。

## 2 法人の概要

### 1) 設置する学校・学部・学科等

新潟青陵大学

看護福祉心理学部 看護学科 (平成12年度開設)

福祉心理学科 (平成12年度開設)

新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 (昭和43年度開設)

人間総合学科 (平成16年度開設)

新潟青陵高等学校 生活服飾科 (昭和23年度開設)

普通科 (昭和35年度開設)

新潟青陵幼稚園 (昭和42年度開設)

### 2) 当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況

ア、16年度(募集年度)および17年度(入学年度)

#### 【新潟青陵大学】

学 科	入学定員	1 年	2 年	3 年	4 年	計	収容定員	充足率
看 護 学 科	80 3年次 10	86	85	89	92	352	340	1.03
福 祉 心 理 学 科	100 3年次 10	129	122	117	128	496	420	1.18
計	200	215	207	206	220	848	760	1.11

#### 【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	入学定員	1 年	2 年			計	収容定員	充足率
人 間 総 合 学 科	200	257	254	-	-	511	400	1.27
幼 児 教 育 学 科	100	129	128	-	-	257	200	1.28
計	300	386	382	-	-	768	600	1.28

#### 【新潟青陵高等学校】

学 科	入学定員	1 年	2 年	3 年		計	収容定員	充足率
普 通 科	360	339	329	268	-	936	1080	0.86
生 活 服 飾 科	40	24	32	36	-	92	120	0.76
計	400	363	361	304	-	1028	1200	0.85

#### 【新潟青陵幼稚園】

学 科	入学定員	3 才 児	4 才 児	5 才 児		計	収容定員	充足率
計	50	52	52	45	-	149	150	0.99

イ、参考：17年度（募集年度）および18年度（入学年度）の状況

【新潟青陵大学大学院】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
臨床心理学研究科	10	18	11	11	1.10	10	11	1.10

【新潟青陵大学】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
看護学科	80 3年次 10	507	168	95	1.06	340	353	1.04
福祉心理学科	100 3年次 10	603	214	134	1.22	420	495	1.18
計	200	1110	382	229	1.15	760	848	1.12

【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
人間総合学科	200	404	273	259	1.29	400	511	1.27
幼児教育学科	100	523	149	129	1.29	200	255	1.27
計	300	927	422	388	1.29	600	766	1.27

【新潟青陵高等学校】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
生活服飾科	40	123	113	44	1.10	120	96	0.80
普通科	360	873	842	308	0.86	1080	938	0.86
計	400	996	955	352	0.88	1200	1034	0.86

【新潟青陵幼稚園】

3才児			4才児			5才児			収容定員	現 員	収容充足率
募集数	応募数	入園数	募集数	応募数	入園数	募集数	応募数	入園数			
46	51	45	7	6	4	6	3	3	150	142	0.95

3) 役員・教職員の概要等

ア、役員

	氏 名	就任年月日	重任年月日	選任条項
理事長	関 昭 一	5. 4. 1	17. 4. 1	大学長・短大学長
常務理事	大 谷 一 男	6. 4. 1	14. 4. 1	評議員会選任
理 事	吉田 六左工門	59. 4. 1	16. 4. 1	理事会選任
理 事	坂 井 熙 一	3. 1.24	15. 4. 1	評議員会選任

理事	佐藤起子	10. 4. 1	15. 4. 1	理事会選任
理事	橋本誠	12. 4. 1	16. 4. 1	同上
理事	石本隆太郎	14. 4. 1		評議員会選任
理事	半藤保	15. 4. 1		同上
理事	諫山正	17. 4. 1		同上
理事	小山明	15. 4. 1		高等学校長
理事	菅田久志	13. 6. 1	15. 4. 1	評議員会選任
監事	野沢寛郎	4. 4. 1	16. 4. 1	理事長選任
監事	熊谷大輔	11. 4. 1	15. 4. 1	同上
監事	大掛幸子	10. 4. 1	14. 4. 1	同上

監事は、理事会において選出した候補者のうちから、評議員会の同意を得て理事長が選任するものであること。

イ、教職員（学長・校長・園長を含む）（平成17年4月1日現在）

【新潟青陵大学】

学 科	教授	助教授	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
看 護	9	8	6	35	15	38	35	6	4
福 祉 心 理	11	6	4	26	2	23	26	7	3
計	20	14	10	61	17	61	61	13	7

【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	教授	助教授	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
人 間 総 合	5	10	5	43	-	20	43	9	4
幼 児 教 育	5	3	3	25	-	11	25	6	2
計	10	13	8	68	-	31	68	15	6

【新潟青陵高等学校】

学 科	教諭	助教諭	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
計	66	-	-	29	-	66	29	9	7

【新潟青陵幼稚園】

学 科	教諭	助教諭	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
計	7	-	1	5	-	8	5	-	1



### 3 事業の概要

#### 1) 当該年度の事業（経営）の概要

##### ア．新潟青陵大学

学生数の微増により学生納付金収入は前年比で約1千880万円の増額、補助金収入は約2千132万円の増額となった。また、受験料収入がその中核をなす手数料収入は約285万円の減額となった。一方、人件費支出2千815万円の増額、融資奨学金や学生用ノートパソコン賃借料等を含む教育研究経費は771万円の増額、管理経費1千739万円の減額となった。また、前年度に校地隣接地の拡張や5号館校舎の新築という設備投資の債務償還が始まるということで借入金等利息支出や借入金等返済支出の総額が5千965万円の高水準となった。大学院関連事業を含む施設関係および設備関係支出の総額は7千490万円となった。

なお、前受金保有率は前年度183.29%から286.45%に上昇して資金繰りは堅調である。消費収支計算での消費収支差益率（消費収支差額／消費収入）は6.20%で、人件費率が前年度50.25%から52.52%に後退するものの経営の状況は概ね堅調に推移する結果となった。

主な事業は、次のとおり。

1．3号館、臨床心理センター新設	17,535千円
2．1号館、講義室改修および増設	12,810千円
3．大学院関係備品および図書充実費等	9,550千円

#### 【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金収入	1,158,227	人件費支出	699,571
手数料収入	25,879	教育研究経費支出	157,260
寄付金収入	0	管理経費支出	109,830
補助金収入	151,249	借入金等利息支出	8,729
資産運用収入	409	借入金等返済支出	50,930
資産売却収入	0	施設関係支出	23,408
事業収入	200	設備関係支出	51,494
雑収入	21,062	資産運用支出	38
借入金等収入	0	その他の支出	9,157
前受金収入	230,910	学校法人経費按分額	23,626
その他の収入	23,020		
資金収入調整勘定	243,888	資金支出調整勘定	7,396
内部取引勘定	0	内部取引勘定	0
前年度繰越支払資金	421,043	次年度繰越支払資金	661,464
計	1,788,111	計	1,788,111

【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金	1,158,227	人件費	714,051
手数料	25,879	教育研究経費	289,284
寄付金	2,338	うち、減価償却額	( 132,023 )
補助金	151,249	管理経費	112,992
資産運用収入	409	うち、減価償却額	( 3,161 )
資産売却差額	0	借入金等利息	8,729
事業収入	200	資産処分差額	16,636
雑収入	21,062	債務保証損失引当金繰入額	1,190
帰属収入合計	1,359,364	学校法人経費按分額	23,626
基本金組入額合計	115,670		
計	1,243,694	計	1,166,508
資金収支計算の前受金保有率（前年度）		当年度消費収入超過額	77,186
286.45%（183.29%）		前年度繰越消費収入超過額	403,104
		翌年度繰越消費収入超過額	325,918

< 概説 >

学生数の確保も順調に推移し、資金繰りは安定的に推移している。人件費率の上昇傾向に警戒しつつも、引き続き、本学の特色づくりに鋭意努力する必要がある。同時に大学の将来像を見据えた計画的な資金蓄積を開始する段階に入ったと言える。

イ．新潟青陵大学短期大学部

学生数は人間総合学科開設2年目を迎えて、対前年比80人の増員となって納付金収入が7千241万円の増額という突出した決算となった。納付金以外では補助金収入が153万円の微増にとどまるなど大きな変化は見られない。

人件費支出は対前年比4千858万円の減額、融資奨学金や学生用ノートパソコン賃借料および派遣留学生学費等を含む教育研究経費は1千67万円の増額であった。借入金等の債務償還費は大学と同一歩調で前々年度の校地隣接地の拡張と5号館校舎新築に起因して大学同様に高水準にある。施設関係および設備関係支出の総額は3千619万円でやや低調な決算となった。

なお、前受金保有率は前年度263.39%から282.78%に、やや横這いながら資金繰りは依然として堅調である。消費収支計算での消費収支差益率（消費収支差額/消費収入）は9.38%で、前年度のマイナス13.08%を大幅に改善した。人件費率も前年度63.95%から54.58%へ改善した。経営の状況は堅調である。

## 【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金収入	774,754	人件費支出	519,493
手数料収入	20,275	教育研究経費支出	119,871
寄付金収入	21	管理経費支出	69,692
補助金収入	81,343	借入金等利息支出	10,549
資産運用収入	480	借入金等返済支出	56,780
資産売却収入	0	施設関係支出	15,321
事業収入	0	設備関係支出	20,877
雑収入	21,949	資産運用支出	112
借入金等収入	0	その他の支出	7,166
前受金収入	283,680	学校法人経費按分額	8,108
その他の収入	64,389		
資金収入調整勘定	297,344	資金支出調整勘定	5,229
内部取引勘定	34,256	内部取引勘定	106,934
前年度繰越支払資金	748,070	次年度繰越支払資金	802,199
計	1,731,873	計	1,731,873

## 【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金	774,754	人件費	490,713
手数料	20,275	教育研究経費	170,454
寄付金	152	うち、減価償却額	( 50,582 )
補助金	81,343	管理経費	75,710
資産運用収入	480	うち、減価償却額	( 6,018 )
資産売却差額	0	借入金等利息	10,549
事業収入	0	資産処分差額	2,309
雑収入	21,949	債務保証損失引当金繰入額	890
帰属収入合計	898,953	学校法人経費按分額	8,108
基本金組入額合計	61,616		
計	837,337	計	758,733
資金収支計算の前受金保有率(前年度) 282.78%(263.39%)		当年度消費収入超過額	78,604
		前年度繰越消費収入超過額	298,811
		翌年度繰越消費収入超過額	377,415

## &lt; 概説 &gt;

学生数確保および資金繰り何れも堅調で、消費収支差額も7千万円台を確保し、消費収支差益率もマイナス13.08%から9.38%に回復できたことは経営面から見て心強いものがある。

## ウ．新潟青陵高等学校

生徒数の漸減に伴って納付金収入は、対前年比で1千667万円、受験料収入がその中核をなす手数料収入も約389万円、補助金収入も対前年比で4千925万円とそれぞれが軒並みに減額となった。一方において人件費支出が7千509万円の大幅な増額、教育経費および管理経費も

微増、債務償還の圧迫要因も重なって、前受金収入の費消を通り越して、平成16年度の会計年度から始まった内部取引勘定（短期大学からの内部借入金）の累計も6千387万円となった。前受金収入5千648万円の費消を加えると1億2千万円の資金不足を来していることになる。また、消費収支計算での消費収支差益率（消費収支差額／消費収入）は前年度のマイナス9.74%からマイナス16.35%へ、人件費率も前年度82.68%から91.48%へと一段と悪化した。累積赤字が15億円台に突入し、経営状況は極めて危険な状況にある。

【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金収入	372,548	人件費支出	869,927
手数料収入	17,212	教育研究経費支出	76,412
寄付金収入	1,777	管理経費支出	30,351
補助金収入	440,048	借入金等利息支出	4,635
資産運用収入	0	借入金等返済支出	83,593
資産売却収入	0	施設関係支出	1,792
事業収入	0	設備関係支出	7,378
雑収入	118,807	資産運用支出	0
借入金等収入	142,440	その他の支出	2,433
前受金収入	56,480	学校法人経費按分額	10,362
その他の収入	62,260		
資金収入調整勘定	174,616	資金支出調整勘定	1,421
内部取引勘定	63,877	内部取引勘定	15,371
前年度繰越支払資金	1,320	次年度繰越支払資金	1,320
計	1,102,153	計	1,102,153

【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金	372,548	人件費	869,927
手数料	17,212	教育研究経費	141,100
寄付金	2,314	うち、減価償却額	( 64,688 )
補助金	440,048	管理経費	31,987
資産運用収入	0	うち、減価償却額	( 1,636 )
資産売却差額	0	借入金等利息	4,635
事業収入	0	資産処分差額	470
雑収入	118,807	債務保証損失引当金繰入額	40
帰属収入合計	950,929	学校法人経費按分額	10,362
基本金組入額合計	41,225		
計	909,704	計	1,058,521
資金収支計算の前受金保有率（前年度） 2.33%（ 2.25% ）		当年度消費収入超過額	148,817
		前年度繰越消費収入超過額	1,390,926
		翌年度繰越消費収入超過額	1,539,743

< 概説 >

過去10数年間にわたって教員の更新促進を促進してきた割りに人件費比率の改善がはか

ばかしくない。退職金の割増加算制度の廃止と高校教育の魅力度を高めるための施策が必要と言える。

## エ．新潟青陵幼稚園

園児数の漸減に伴って納付金収入が対前年比で217万円の減額となった。一方、補助金収入は僅かではあるが97万円の増額となった。人件費支出（退職金を除く。）は168万円の増額となった。内部取引勘定（短期大学からの内部借入金）の累計も増加傾向を示して懸念材料となっている。前受金保有率2.58%、消費収支差益率マイナス13.30%、人件費率84.40%と悪材料が重なって資金繰りと経営の状況は、いぜんとして不安定、不健全な状況にある。

### 【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金収入	46,201	人件費支出	75,186
手数料収入	110	教育研究経費支出	6,627
寄付金収入	0	管理経費支出	14,136
補助金収入	26,176	借入金等利息支出	0
資産運用収入	279	借入金等返済支出	0
資産売却収入	0	施設関係支出	0
事業収入	427	設備関係支出	872
雑収入	15,426	資産運用支出	0
借入金等収入	0	その他の支出	208
前受金収入	1,935	学校法人経費按分額	970
その他の収入	1,213		
資金収入調整勘定	18,175	資金支出調整勘定	235
内部取引勘定	43,057	内部取引勘定	18,885
前年度繰越支払資金	50	次年度繰越支払資金	50
計	116,699	計	116,699

### 【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金	46,201	人件費	75,186
手数料	110	教育研究経費	8,877
寄付金	458	うち、減価償却額	( 2,250 )
補助金	26,176	管理経費	14,390
資産運用収入	279	うち、減価償却額	( 253 )
資産売却差額	0	借入金等利息	0
事業収入	427	資産処分差額	0
雑収入	15,426	債務保証損失引当金繰入額	0
帰属収入合計	89,077	学校法人経費按分額	970
基本金組入額合計	1,330		
計	87,747	計	99,423
資金収支計算の前受金保有率（前年度） 2.58%（ 2.25% ）		当年度消費収入超過額	11,676
		前年度繰越消費収入超過額	293,878
		翌年度繰越消費収入超過額	305,554

## <概説>

内部取引勘定が増加傾向にある。また、消費収支計算の例年の構造に大きな変化もなく改善の傾向が見られない。

## 2) 当該年度の主な事業の目的・計画

### ア．新潟青陵大学

本学は、看護学科と福祉心理学科連携のユニークな教育体系の下に医療福祉面での地域社会に貢献できる人材養成という実学教育の実現を目指している。

看護学科では、看護学に関する専門の知識と技術を教授・研究し、広く深い教養と豊かな人間性を培うことによって、看護の基礎的諸能力を修得させることを目指し、国際社会において貢献することのできる有為な人材を育成することを目的にしている。これらの目的を実現のため「人間・生命の尊厳を守る意識を培い、自己の資質の向上に努める能力を養う。

他者を尊重し、自己をも尊重する建設的な人間関係を形成する能力を養う。看護に必要な知識・技術を学習することによって、よりよい看護実践ができる基礎的能力を養う。看護の諸現象について、論理的な思考のもとに、適切な情報の収集、科学的な分析、理論的な判断を用いて、有効な対応を考察できる能力を養う。専門的知識・技術を用いて、科学的な根拠に基づく安全・安楽な援助を提供できる能力を養う。社会における看護が担うべき役割を認識し、保健医療福祉領域の専門職および地域の人々との協力・連携のもとに、看護の発展に寄与する能力を養う。国際的な視野をもち、創造的な思考を深め、専門職業人として社会に貢献できる能力を養う。」の教育目標を掲げている。また、看護学科では看護師と保健師の一貫養成を行い、希望者には助産師もしくは養護教諭一種免許状を取得できるプログラムを用意している。

福祉心理学科では、本学の教育理念である「生命尊重・人間尊重の理念に基づき、国民の福祉と健康を支え、全人的な視点からこれを保障するという社会の要請に応えるとともに、クオリティオブライフ(QOL)の向上を実現すべく、看護学科と福祉心理学科の連携のもとに教育・研究を行い、医療福祉面での地域社会に貢献できる人材の養成」を実現するため「人間の命と尊厳を守る力を育てます。人間を支えるための土台を作ります。人間を見つめ、社会との関連を考えます。人間や地域と関わっていく精神を学びます。」の教育目標を掲げている。また、本格的な少子・高齢社会の進展に対応するため、保健、福祉、心理、医療に関する幅広い視点を兼ね備えた社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士の養成の他、介護福祉士、保育士、カウンセリング実務士、高等学校福祉科、公民科の教員養成のプログラムを用意している。

### イ．新潟青陵大学短期大学部

人間総合学科人間総合コースは、学生の興味・関心・取得希望資格等に応じた多様な履修形態を可能にしたことを特色としている。幅広く学べる自由と目的別に集中して体系的に学ぶことを同時に満足させるために、きめ細かな履修指導を最重要課題にしている。認定資格

である衣料管理士、ビジネス実務士、フードスペシャリスト等々、および、対策授業である検定試験により取得可能なカラーコーディネータ、医療事務、国内旅行業務取扱管理者等々の多様な職業に必要な知識と技能を授け、幅広い分野において活躍できる人材の育成を目的としている。また人間総合学科介護福祉コースは、介護に関する知識と技術の習得を目的とした厚生労働省が指定する介護福祉士養成施設であって、あたたかい心を持った「介護のスペシャリスト」の育成に努めている。また、両コースとも社会人として協調性ある人材の育成という見地から「基礎ゼミ」や「社会生活とマナー」等々の授業を核にしてマナー指導の徹底を期している。

幼児教育学科は、幼稚園教諭と保育士の養成を目的にしている。教育基本法と児童福祉法の理念に基づき、将来を担う子どもの保育と教育の向上を目指して、ひとり一人の子どもの最善の利益のために努力し、自らを成長させる人間性豊かな保育者を育成することを教育理念に掲げて、学科の全教員が共通理解の下で学生をきめ細かく指導する体制をとっている。また、質の高い保育者を養成するとともに、保育現場から支持され、且つ、評価される人材を育成することになっている。さらに社会人としてのマナー指導も徹底して行うことにしている。

#### ウ．新潟青陵高等学校

教育理念「至誠」のもと、社会に有為な人間を育成することに努める。そのために目標として、「基礎的・基本的学力がつくよう努める。『授業時数の確保に努め、それぞれの授業に真剣に取り組む。家庭学習の時間の確保。』 規律正しい生活習慣が身につくよう努める。

学力を高め、大学等進学を積極的に推し進める。『特別進学コース、総合進学コースにおいて充実した指導。授業の年間計画（シラバス）、学習到達目標の明示。』成績不振生徒に対してはきめ細かに指導し、中退防止に努める。部活動、各種委員会を通し、人間形成の確立と技術・技能の練度、習得、高揚に努める。」を掲げ、きめ細かな指導に努め、本校の前進を目指している。

#### エ．新潟青陵幼稚園

教育方針に本年度もシュタイナー教育を継続。この教育は「やがて大人になった時に真に思考力のある自立した人間」となることを目指すものである。人格形成の基礎として、幼児期には、意志、感性、感情を育てることが必要である。保育者は模倣の対象となるべく資質向上に努め、自然環境、良質な教材の利用、遊びを中心とした教育内容を計画し、幼児の意欲、コミュニケーション能力、想像力、創造性、感性を伸ばす教育を目指している。

### 3) 当該計画の進捗状況等

#### ア．新潟青陵大学

本学は看護福祉心理学部に看護学科及び福祉心理学科を置き、統合し、専門職としての看護職及び社会福祉従事者の養成を目的としている。いわば、福祉に強い看護職、看護に強い社会福祉従事者を育成する学部構成を特色にしている。看護並びに福祉心理の両学科専攻生

が体系的に共通に学ぶ教養基礎科目と学部共通の専門基礎科目とそれぞれの学科の専門科目  
 或いは臨地実習、卒業研究などの体系的な学習を通して所要の成果を目指して鋭意努力を重ねてきた。その成果の一つである国家試験或いは就職状況を次に列記する。

国家試験において看護学科では、看護師に75人、保健師に68人、助産師に13人が合格した。合格率は、看護師96.2%（昨年96.3%）、保健師76.4%（昨年66.3%）、助産師の合格率は100.0%（昨年100.0%）となった。なお、看護師は大学新卒の全国平均95.5%を若干上回った。保健師は81.9%の全国平均をやや下回ったものの前年度の本学の合格率を大きく上回った。助産師の全国平均は97.5%のところ本学は昨年度に引き続いて100.0%の合格率となった。引き続き、合格率の向上策が課題であると言える。一方の福祉心理学科では、社会福祉士に36人、精神保健福祉士に10人が合格した。合格率は、社会福祉士過去3回の合格率、第16回（28.5%）、第17回（29.8%）、第18回（28.0%）を上回る33.6%（昨年31.9%）となった。精神保健福祉士は全国合格率61.3%を上回る62.5%（昨年60.0%）の結果となった。引き続き、合格者数と合格率の向上が今後の課題と言える。就職の状況は、次のとおりである。

【職業紹介状況】

項目	看護学科			福祉心理学科			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就職希望者数	6	81	87	24	84	108	30	165	195
就職決定者数	6	81	87	23	81	104	29	162	191
就職率（%）	100.0	100.0	100.0	95.8	96.4	96.3	96.7	98.2	97.9

【看護学科】

	看護師	保健師	助産師	養護教諭	その他	計
県内	44	3	4	1	1	53
県外	19	5	6	4		34
計	63	8	10	5	1	87

【福祉心理学科】

	生活相談員	生活支援員	介護職	PSW	MSW	心理・児童他	一般企業等	計
県内	9	7	37	5	3	8	23	92
県外	3	2	5				2	12
計	12	9	42	5	3	8	25	104

< 概説 >

就職率は前年とやや同じ97.9%（前年97.8%）となった。就職先の内訳で見ると看護学科は、看護師72.4%、保健師9.2%、助産師11.5%、養護教諭5.7%、その他1.2%の割合である。また、福祉心理学科は、福祉関係職種76.0%、一般企業等24.0%の割合である。福祉職から一般企業等に就職を希望する学生が近年多くなってきている。一般企業への就職活動の時



期は、福祉職とは違って早く、而も、競争が激しいため、早期から進路に対する明確化、動機付けをしっかりとサポートし、対応して行く必要がある。

なお、就職状況の中で就職を希望する学生の即戦力化が求められる一方で、正規雇用が減少しつつあり、福祉関係の就職環境も今まで以上に厳しさを増すことが指摘されている。また、福祉の職場では、就職者を育てながら職場の理念の実現を図ってきたことを考えるとパートや非常勤雇用の中で、研修や教育が十分行われるのか、利用者支援のプロを育てる立場から考えると、雇用のあり方について養成校としても意見を述べ、改善を求めて行くことも必要である。

#### イ．新潟青陵大学短期大学部

人間総合学科は、多岐にわたる職業専門教育を可能にすることをねらいの一つとして、1年次の早い段階から自らの興味や関心、能力・適性を希望する職業に結びつける科目履修ができるよう編成した。幼児教育学科にあっては人間性豊かな保育者を養成することの教育理念の下に「生命に対する畏敬の念を持ち、広い視野と慈しみの心で、人間及び子どもの本質を理解できる能力を養う。さまざまなものに共感する心、それを表現する力を養うことにより、豊かな感性と創造性を育む。保育や子育てを取り巻く現実を直視し、主体的かつ創造的に保育を実践できる能力を養う。」という教育目標を掲げて様々な取り組みと実践を行った。総じて、両学科とも所要の成果をあげることができたと言える。

#### 【職業紹介状況】

学科 項目	人間総合学科			幼児教育学科			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就職希望者数	4	203	207	4	119	123	8	322	330
就職決定者数	3	181	184	4	118	122	7	299	306
就職率(%)	75.0	89.2	88.9	100.0	99.2	99.2	87.5	92.9	92.7

#### <概説>

本学では、学生に対して、入学時から進路支援関連のカリキュラムを複数用意し、またタイムリーに就職活動をサポートする事業を実施することで、就業意識の向上と就職活動への積極的な取り組みを促している。また、保護者を対象とした個人懇談、学生と教員および就職課スタッフとの面談を通して、家庭、学生、大学間の関係を密にし、就職に関する情報を共有することで、長期にわたる就職活動をバックアップしている。

#### ウ．新潟青陵高等学校

本校の登校日数は、1学期70日・2学期76日・3学期41日の計187日（例年186日～188日）であった。生徒の1日の行動は始業前に学習記録の記載に始まり、数学基本問題或いは漢字書取を行う。続いて、英単語テストを受け、朝のSHR。1時限から7時限の授業を受ける。特別進学コースは、その後、月・火・木・金（16：10～17：10）の平日講座（国語・英語・

数学・理科・地歴・公民)でより深い理解を求めて授業を実施。また、第2・4土曜日には模擬試験対策の講座を受講。夏期休暇中は学校で事前授業を受けた後、勉強合宿を実施し、国語・英語・数学を中心に基礎力の定着を図っている。同時に家庭学習の確立も着実にその時間数は多くなっている。成績不振生に対しては保護者との連絡を密にして、昼休み、放課後、夏期休暇中に補習授業を実施している。部活動は卓球(女子の部)において県大会総合優勝を成し遂げ、インターハイにはバドミントン・卓球・テニスの各部が出場した。文化部も吹奏楽部・写真部の活躍が目ざましい。普通科・生活服飾科とも所期の目標に向かって日々邁進している。

【卒業生進路状況】

進路先		進 学					就 職	その他	計
		大 学	短 大	医療系専門	専修各種	職業訓練施設			
普 通	男	25	3		39	1	4	14	86
	女	41	26	10	56		20	26	179
	計	66	29	10	95	1	24	40	265
生 活 服 飾		4	4		16		4	8	36
計		70	33	10	111	1	28	48	301

< 概説 >

概ね前年度と同様の進路状況である。国公立大学へは新潟大学医学部保健学科、経済学部、茨城大学人文学部へ進学。新潟青陵大学へは15人が進学。その他、日本大、東海大、専修大、東洋大などへ進学。また、県立新潟女子短期大学に2人、県外の公立短大へ2人、新潟青陵大学短期大学部に23人が進学した。就職希望者は景気を反映して厳しい就職状況であるが、28人、100%の就職率を昨年と同様に達成している。

エ．新潟青陵幼稚園

子どもの遊びに創意工夫が見られ、意欲を持って取り組む姿が見られるようになった。この意欲は、目的を実現させようとする力であり、将来の意志に繋がるものである。また、子ども相互の意見調整や自己批判の姿が見られ、人と関わる力が育ってきている。さらに、自然の中で過ごすことや昔話の語りを聞くことは、感じる心、独自のイメージを持つ力、物語の内容を洞察する力となって現れている。

#### 4 財務の概要

##### 1) 平成17年度決算額

#### 資金収支計算書（資金繰り表）

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
学生生徒等納付金収入	2,351,731	人件費支出	2,188,590
手数料収入	64,106	教育研究経費支出	360,170
寄付金収入	1,797	管理経費支出	242,663
補助金収入	698,816	借入金等利息支出	23,913
資産運用収入	1,169	借入金等返済支出	191,302
事業収入	627	施設関係支出	40,521
雑収入	177,325	設備関係支出	80,621
借入金等収入	142,440	資産運用支出	150
前受金収入	579,555	その他の支出	18,964
その他の収入	150,900		
資金収入調整勘定	734,104	資金支出調整勘定	14,281
前年度繰越支払資金	1,170,483	次年度繰越支払資金	1,472,232
収入の部合計	4,604,845	支出の部合計	4,604,845

#### 消費収支（損益）計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
学生生徒等納付金	2,351,731	人件費	2,174,290
手数料	64,106	教育研究経費	609,715
寄付金	5,260	管理経費	253,733
補助金	698,816	借入金等利息	23,913
資産運用収入	1,169	資産処分差額	19,416
事業収入	627	債務保証損失引当金繰入額	2,120
雑収入	177,325	消費支出の部合計	3,083,187
帰属収入合計	3,299,034	当年度消費収入超過額	3,994
基本金組入額合計	219,841	前年度繰越消費収入超過額	1,789,097
消費収入の部合計	3,079,193	翌年度繰越消費収入超過額	1,793,091

貸借対照表

平成18年3月31日

単位 千円

科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	7,324,127	固定負債	1,012,145
有形固定資産	6,599,204	長期借入金	678,580
土地	1,461,188	退職給与引当金	331,445
建物	3,828,802	債務保証損失引当金	2,120
教具校具及び図書等	1,309,214	流動負債	892,296
その他の固定資産	724,923	短期借入金	253,270
流動資産	1,670,768	未払金	14,176
現預金	1,472,232	前受金	579,555
預り資産	37,116	預り金	45,295
未収入金	161,268	負債の部合計	1,904,441
前払金	152	基本金	8,883,545
		消費収支差額	1,793,091
資産の部合計	8,994,895	負債・基本金等の部合計	8,994,895

2) 経年比較等

ア、貸借対照表

比 率 ( × 1 0 0 )		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{脚注(a)}}$	16.2	20.9	21.1	20.2	19.9
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{脚注(b)}}$	94.1	95.1	95.4	89.7	91.3
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{脚注(c)}}$	109.0	109.4	105.4	109.3	103.3
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{脚注(d)}}$	97.7	98.6	96.0	93.8	90.4
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	125.7	113.6	135.3	159.7	187.2
前受金保有率	$\frac{\text{現預金}}{\text{前受金}}$	134.7	134.0	161.7	203.7	254.0
総負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{総資産}}$	17.9	18.2	18.1	22.1	21.2
負債比率	$\frac{\text{負債 - 前受金}}{\text{総資産}}$	11.1	11.8	11.2	15.6	14.7
基本金実質組入率	$\frac{\text{脚注(c)}}{\text{脚注(b)}}$	78.5	75.7	75.9	71.1	72.8

a = 負債 + 基本金 + 消費収支差額

b = 基本金 + 基本金未組入額

c = 基本金 + 消費収支差額

d = 基本金 + 消費収支差額 + 固定負債

イ、消費収支計算書

【人件費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	52.53	54.58	91.48	84.40	65.90	人 件 費 帰 属 収 入
16	50.25	63.95	82.68	76.76	64.96	
15	56.62	63.72	82.83	74.79	68.28	
14	71.06	62.52	83.40	75.79	74.14	
13	88.58	63.07	75.33	74.69	76.08	

【教育研究経費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	21.28	18.96	14.84	9.97	18.48	教 育 研 究 経 費 帰 属 収 入
16	21.03	20.34	15.13	12.50	18.87	
15	20.42	20.86	12.50	12.87	17.54	
14	23.20	20.81	11.10	14.88	17.79	
13	23.98	25.27	11.09	14.55	18.71	

【管理経費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	8.31	8.42	3.36	16.15	7.69	管 理 経 費 帰 属 収 入
16	9.93	8.55	2.59	17.52	7.79	
15	9.89	9.24	3.23	19.03	7.85	
14	11.04	7.97	2.79	18.02	7.55	
13	12.73	8.07	2.40	20.51	7.55	

【消費収支比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	91.89	89.64	115.21	112.20	100.13	消 費 支 出 消 費 収 入
16	90.86	113.08	109.74	109.04	102.60	
15	95.82	99.93	108.19	111.65	102.10	
14	128.92	105.09	107.63	111.91	114.64	
13	148.82	105.70	98.86	111.21	114.98	

【経常経費依存率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	98.67	96.89	281.35	213.10	131.10	消 費 支 出 納 付 金
16	96.67	111.61	249.71	168.66	129.79	
15	94.56	111.41	276.76	167.01	134.55	
14	115.62	110.33	254.34	168.65	145.81	
13	155.29	114.40	219.06	169.46	158.61	

【納付金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	85.20	86.18	39.18	51.87	71.29	納 付 金 帰 属 収 入
16	85.94	84.60	40.48	64.51	71.40	
15	92.06	84.89	35.88	63.89	69.97	
14	91.14	83.40	38.61	64.90	68.62	
13	80.75	85.19	40.99	64.78	64.99	

【寄附金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	0.17	0.02	0.24	0.51	0.16	寄 附 金 帰 属 収 入
16	0.39	0.00	0.46	0.26	0.30	
15	0.14	0.01	0.36	0.27	0.19	
14	0.34	0.01	0.63	0.28	0.36	
13	0.59	0.04	0.09	0.42	0.22	

【補助金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	11.13	9.05	46.28	29.39	21.18	補 助 金 帰 属 収 入
16	9.80	9.61	50.90	33.61	22.68	
15	3.64	13.32	49.32	34.24	22.44	
14	5.74	13.69	47.86	33.23	24.43	
13	13.85	12.19	53.00	32.82	30.23	

【基本金組入率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
17	8.51	6.85	4.33	1.49	6.66	基本金組入額 帰 属 収 入
16	8.55	15.58	6.84	0.20	9.67	
15	9.14	5.36	8.22	4.43	7.80	
14	18.26	12.44	8.77	2.21	12.72	
13	15.74	7.79	9.16	1.30	10.35	

3) 過去5か年間の資産総額(純資産額)の推移

単位 円

年度	基本金組入額	消費収支差額	純 資 産 額
17	8, 883, 545, 610	1, 793, 091, 962	7, 090, 453, 648
16	8, 663, 703, 977	1, 789, 097, 684	6, 874, 606, 293
15	8, 354, 999, 027	1, 714, 065, 575	6, 640, 933, 452
14	8, 107, 757, 866	1, 652, 569, 321	6, 455, 188, 545
13	7, 733, 957, 707	1, 277, 118, 486	6, 456, 839, 221